

# 令和4(2022)年度栃木県国保特別会計当初予算(案)について

## 1. 国保事業費納付金の算定から保険税賦課徴収まで(イメージ)

### < 県 >

① 国の示す方法に基づき国保事業月報等の実績から県全体の必要総額を推計し、納付金算定システムを活用し、国の示す係数を用いて市町の納める国保事業費納付金や公費等の額を算定する。

○ 県国保特別会計当初予算(案)

R4(2022)予算(案)

|    |   |                                    |  |
|----|---|------------------------------------|--|
| 歳出 | 普通交付金、後期高齢者支援金、介護納付金等<br>約1,742億円<br>(約1,808億円) |                                    | うち 保険者努力支援制度<br>国 約9億円(約11億円)<br>県版 約20億円(約20億円) |
|    | 歳入  | 国保事業費納付金(市町)<br>約517億円<br>(約547億円) | 公費(国・県)等<br>約620億円<br>(約614億円)                   |

※( )内はR3(2021)予算額

② 財政運営分科会において県と市町で納付金額を協議・決定する。

### < 市町 >

③ 各市町は、国保事業費納付金と保健事業等の費用を、公費のほか被保険者から保険税として徴収する。

○ 各市町国保特別会計

|    |          |         |        |            |
|----|----------|---------|--------|------------|
| 歳出 | 国保事業費納付金 |         | 保健事業等  |            |
| 歳入 | 保険税 ※1   | 基金、繰越金等 | 公費     |            |
|    |          |         | 保険税軽減分 | 保険者努力支援制度等 |

保険税の  
賦課・徴収

納入

市町村標準保険料率

※2

被保険者

※1 市町は標準保険料率を参考に、財政調整基金の残高や前年度繰越金の額も考慮して保険料率を決定する。

※2 県内統一の算定基準により、県が市町ごとに算定する。



